

International Tibet Network:

2011年5月27日

国際チベットNGO連名は依然として続くキルティ僧院弾圧に抗議し、僧院を危機から救うため中国に対する国際的圧力を緊急要請する。

ンガバ（現地）からの報告は、今も続く中国軍によるキルティ僧院の封鎖、僧侶に対する厳しい‘愛国再教育’など、恐怖による統治が行われていることを伝える。

コンタクト：Tenzin Jigme + 1 703 424 0015（在米：英語/チベット語、）

Alison Reynolds + 44 7711 843884（在英：英語）

世界6大陸、約200団体が参加する国際チベットネットワーク（the International Tibet Network（下記1参照）は東チベット（中国名：四川省）のアムド、ンガバ（四川省阿壩チベット族羌族自治州）地区のチベット人住民と同地区にあるキルティ僧院僧侶達への中国政府による継続的弾圧に対し抗議します。

この弾圧は3月16日、僧プンツォ（20歳）が抗議の焼身自殺を行ったことを契機に始まりました。

すでに3ヶ月に渡る弾圧の結果、これまでに300人以上が強制連行され、3人が死亡し、2人の僧侶に3年の刑が宣告されています。（2参照）。

国際チベットネットワークは、各国政府に対し、この危機的状況に関し強い遺憾の意を表明するとともに、中国政府指導者に対しンガバの治安部隊を直ちに退避させ、拘束者を無条件で即時釈放し、国際的調査員とメディアの入域を許可するよう要請することを求めます。

4月21日には準憲兵隊によりキルティ僧院の300名以上の僧侶が強制連行されました。僧侶の連行を阻止しようとした僧院の夜警をしている60代の人老人2人、Dongko（男性）とSherkyi（女性）が暴打により死亡しました。（3参照）チベット人権民主化センターが4月7日に伝えるところでは、さらにもう一人Chukpelという名の若いチベット人が抗議行動の際に受けた怪我が原因で死亡。さらに5月初めにキルティ僧院の僧侶 Lobsang DhargyeとKunchok Tsultrimの2人は3年づつの刑を宣告されました。（4参照）

他にも25人が行方不明となっており、強制失踪が続く中、僧侶らへの同情を表明した地域の学生を取り調べを行い、学校が閉鎖されています。（3も合わせて参照）

4月20日にボイスオブアメリカ、チベット語放送から発表されたビデオは、中国のンガバが“通常どおり”だとする主張に異議を唱えています。

参考：<http://www.youtube.com/watch?v=zwmstGsFlJc>（5参照）。

キルティ僧院長 Lobsang Tenzinが国際チベットネットワークに語ったところによると、「4月22日午前3時ごろに300人以上の僧侶が逮捕され、他にも多くが強制失踪しています。中国の憲法では、信教の自由を保証しているにも関

ならず、過去2ヶ月間、この由緒あるキルティ僧院は刑務所と化しています。僧院は中国政府によって閉鎖される危機に面しています。我々は世界の政治的指導者、宗教的指導者と、その敬虔な信者に、キルティ僧院に対する弾圧を止めるよう中国指導者に対して訴えてくれるよう訴えます」

4月15日にはダライラマ法王が自制を求める声明を発表し、次のように述べています。

”チベット北東部ンガバのキルティ僧院では現在、中国軍と地元チベット人が対峙し、一触即発の深刻な状況となっています。キルティ僧院には約2500名の僧侶が暮らしていますが、周囲を武装警察部隊に完全に包囲され、食糧や物資を運びこむことができない状況が続いています...

私は、このままでは暴発が生じ、ンガバのチベット人にとって破滅的結末に至るのではないかと深く憂慮しています。” (6)

5月9、10日、米の訪中時に行われた米中人権対話の際、キルティ僧院への弾圧と僧侶300人の逮捕について米政府から中国政府に対して問われました。残念ながら、先頃の訪中時にオーストラリア首相Julia Gillardと欧州議会委員長Herman van Rompuyの双方は、中国指導者との対話の中で、この問題についてふれませんでした。

チベット人とその支援者は、今後、中国と外交関係にあり訪中予定のある全ての関係者に訴えます。ンガバの人々と僧侶の安全を確保し、中国軍による人権侵害を止めるよう、中国の最高指導者らに対し明確に表明することを強く求めます。

以上

注釈

1. The International Tibet Network はチベット関連NGO、183団体間の国際協調により、チベット支援の効果を最大限にするために、作られた総括ネットワークです。

International Tibet Network メンバー団体は、各団体チベットの政治的な未来について独自の見解を持ちますが、全団体は一貫してチベットを被占領国家と捉え、チベット人の人権侵害に終止符を打つため、国際法のもとで守られたチベットの人々の権利である政治、経済、社会、宗教や文化を決定する自決権を取り戻すために活動しています。

2. チベット人僧侶プンツォック（20歳）が3月16日にガバの街中で抗議の焼身自殺を図りました。

この日は2008年にキルティ僧院で抗議行動がおきてから3年目にあたり、この時、武装警察は抗議参加者に対し無差別発砲し少なくとも10名の射殺者

がでています。

プンツォックは翌日の17日に病院で死亡しています。

事件背景資料（英語）は

：<http://www.tibetnetwork.org/sites/default/files/NgabaTimeline23May2011.pdf>.

International Campaign for Tibetによる受刑者リスト 2011年5月26日更新;<http://savetibet.org/media-center/ict-news-reports/crackdown-ngaba-monks-detained-giving-wrong-answers-%E2%80%98patriotic-education%E2%80%99>.

3. 参照 International Campaign for Tibet, 9 May 2011, <http://www.savetibet.org/media-center/ict-news-reports/ngaba-students-protest-crackdown-authorities-respond-new-information-deaths-tibetans-who-t>

4. 参照Tibetan Centre for Human Rights and Democracy 2011年5月5日更新 <http://www.tchrd.org/press/2011/pr20110507.html> Lobsang DhargyeとKunchok Tsultrimの写真含む, 2011年4月29

日 <http://www.tchrd.org/press/2011/pr20110429.html> (残酷な画像、閲覧注意).

5. Voice of Americaのチベット語放送の詳しい英語解説は：
<http://savetibet.org/media-center/ict-news-reports/dramatic-new-footage-reveals-ngaba-crackdown-refutes-chinese-claims-normal-life>
Tibet Society UK, <http://www.tibetsociety.com/content/view/171>

6. ダライラマの声明（英語） <http://www.dalailama.com/news/post/663-appeal-by-hh-the-dalai-lama>.

日本語訳：

http://www.tibethouse.jp/dalai_lama/message/110420_KirtiMonastery.htm
1